



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 株式会社 ベリサーブ

上場取引所 東

コード番号 3724 URL <http://www.veriserve.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新堀 義之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 高橋 豊

TEL 03-5909-5700

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,819	△7.4	182	△0.5	142	△22.0	33	△58.9
25年3月期第3四半期	4,123	△2.7	183	△3.3	182	△15.0	80	△20.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 42百万円 (△51.8%) 25年3月期第3四半期 89百万円 (△12.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	12.71	—
25年3月期第3四半期	30.92	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	5,271	4,695	89.1	1,800.25
25年3月期	5,580	4,718	84.5	1,808.80

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,695百万円 25年3月期 4,718百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00
26年3月期	—	1,000.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。平成26年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金につきましては、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額(予想)は、2,500円00銭(第2四半期末:1,000円00銭 期末:1,500円00銭)となります。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	2.3	400	13.1	370	13.1	170	13.9	65.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施しております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、65.17円41銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	2,608,400 株	25年3月期	2,608,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	2,608,400 株	25年3月期3Q	2,608,400 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。発行済株式数(普通株式)は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提条件その他の関連する事項につきましては、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(2) 株式分割について

当社は、平成25年5月21日開催の取締役会及び平成25年6月21日開催の第12回定時株主総会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。これに伴う平成26年3月期の配当予想及び業績予想につきましては、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
5. 補足情報 .....	7
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策の効果などから、円安・株高が進み、企業収益や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、本年4月からの消費税率引き上げに伴う消費低迷への懸念や新興国経済の成長鈍化といった景気下振れリスクにより、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客である製造業においては、輸出を中心に企業収益の改善や業況感に明るい兆しが見えつつありますが、企業の業務効率化やコスト削減意識は依然として強く、引き続き予算見直しや内製化を行う傾向が見られました。

こうした中、当社グループにおきましては、製品・ソフトウェア開発等における品質や生産性向上といった顧客のニーズに対応することで、既存取引の維持・拡大に努めるとともに、制御機器や産業機器関連といった新たな分野の開拓を進めることで、業績拡大に注力してまいりました。

検証対象製品を分野別に見ますと、I T S（高度道路交通システム）関連では、カーナビゲーション・システムが前第3四半期連結累計期間に比べて売上高が減少しましたが、それ以外の車載関連において新規案件の獲得もあり、やや持ち直しの兆しが見られました。I T Sはその多様化・高度化する情報技術に高い関心が注がれていることから、当社グループでは自動車関連の検証業務を獲得するため、昨年10月に東京で開催されたI T S世界会議に出展しました。また、制御機器や産業機器関連等のその他の組込製品の検証については、新規案件の開拓を進めた結果、前第3四半期連結累計期間と比べて売上高が増加しました。一方、AV関連機器、モバイル通信やエンタープライズ系などの組込み以外のソフトウェア関連においては本格的な回復には至りませんでした。また、中国では景気の減速により、検証業務が減少しており、引き続き厳しい状況となっております。

当社グループでは、幅広い分野で検証業務に対応していくため、検証技術者の採用を継続して行うとともに、要員を適材適所に配置してまいりました。また、全般的なコストの見直しも進めており、販売費及び一般管理費は、前第3四半期連結累計期間に比べ6.5%減少いたしました。

以上のような結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,819,886千円（前年同四半期比7.4%減、303,749千円減）、営業利益は182,902千円（前年同四半期比0.5%減、951千円減）、経常利益は142,265千円（前年同四半期比22.0%減、40,172千円減）、四半期純利益は33,151千円（前年同四半期比58.9%減、47,496千円減）となりました。

なお、サービス別の業績につきましては、後述の「5. 補足情報（1）生産、受注及び販売の状況」をご参照下さい。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

##### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ196,343千円減少し、4,788,923千円となりました。これは主に現金及び預金、売掛金及び繰延税金資産が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ112,688千円減少し、482,865千円となりました。これは主に有価証券売却及び持分法による投資損失の計上によるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ309,031千円減少し、5,271,789千円となりました。

##### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ275,151千円減少し、415,437千円となりました。これは主に賞与引当金、買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ11,599千円減少し、160,570千円となりました。これは退職給付引当金が減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ286,751千円減少し、576,007千円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ22,280千円減少し、4,695,782千円となりました。これは主に四半期純利益が33,151千円計上したものの、配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて113,732千円減少し、3,765,888千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、55,325千円の減少となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益、売上債権の回収や減価償却費により増加したものの、引当金及び法人税等の支払により減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、3,861千円の減少となりました。これは主に有価証券の売却、敷金及び保証金の回収により増加したものの、有形固定資産及び無形固定資産の取得により減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、62,558千円の減少となりました。これは配当金の支払により減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい環境が続くものと想定されますが、車載関連やその他の組込製品等の検証において、新規案件の獲得に伴い、業績にやや持ち直しの兆しが見られることから、現時点では平成25年4月24日に公表いたしましたとおり、据え置きます。

※なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,879,621	3,765,888
受取手形及び売掛金	897,500	814,140
仕掛品	29,029	30,838
前払費用	42,225	50,662
繰延税金資産	108,730	49,120
その他	28,159	78,273
流動資産合計	4,985,266	4,788,923
固定資産		
有形固定資産	63,148	51,768
無形固定資産	204,419	187,723
投資その他の資産		
投資有価証券	35,000	7,000
関係会社株式	78,032	33,678
繰延税金資産	67,496	63,009
敷金及び保証金	145,753	136,308
その他	1,703	3,378
投資その他の資産合計	327,985	243,373
固定資産合計	595,554	482,865
資産合計	5,580,821	5,271,789
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	106,503	73,840
未払金	24,114	7,867
未払費用	109,186	115,701
未払法人税等	157,464	—
未払消費税等	43,347	30,003
預り金	32,206	49,612
賞与引当金	211,201	113,265
その他	6,565	25,146
流動負債合計	690,588	415,437
固定負債		
退職給付引当金	168,970	157,370
役員退職慰労引当金	3,200	3,200
固定負債合計	172,170	160,570
負債合計	862,758	576,007
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	792,102	792,102
資本剰余金	775,852	775,852
利益剰余金	3,150,712	3,124,071
株主資本合計	4,718,667	4,692,026
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△605	3,755
その他の包括利益累計額合計	△605	3,755
純資産合計	4,718,062	4,695,782
負債純資産合計	5,580,821	5,271,789

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,123,636	3,819,886
売上原価	2,931,298	2,694,214
売上総利益	1,192,338	1,125,671
販売費及び一般管理費	1,008,483	942,769
営業利益	183,854	182,902
営業外収益		
受取利息	2,273	1,653
為替差益	—	1,392
助成金収入	13,082	5,453
その他	714	732
営業外収益合計	16,070	9,233
営業外費用		
為替差損	86	—
持分法による投資損失	17,400	49,771
その他	—	98
営業外費用合計	17,486	49,869
経常利益	182,438	142,265
特別利益		
固定資産売却益	—	2,026
特別利益合計	—	2,026
税金等調整前四半期純利益	182,438	144,292
法人税、住民税及び事業税	84,677	47,043
法人税等調整額	17,113	64,097
法人税等合計	101,790	111,140
少数株主損益調整前四半期純利益	80,647	33,151
少数株主利益	—	—
四半期純利益	80,647	33,151
少数株主利益	—	—
少数株主損益調整前四半期純利益	80,647	33,151
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	625	4,360
持分変動差額	7,825	5,417
その他の包括利益合計	8,451	9,778
四半期包括利益	89,099	42,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,099	42,929
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	182,438	144,292
減価償却費	56,130	54,181
固定資産売却損益(△は益)	—	△2,026
引当金の増減額(△は減少)	△32,281	△110,021
受取利息	△2,273	△1,653
助成金収入	△13,082	△5,453
持分法による投資損益(△は益)	17,400	49,771
売上債権の増減額(△は増加)	49,332	84,545
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,722	△1,808
仕入債務の増減額(△は減少)	18,691	△32,726
前払費用の増減額(△は増加)	△18,612	△8,326
未払費用の増減額(△は減少)	23,291	5,650
未払消費税等の増減額(△は減少)	△839	△14,073
その他	28,248	26,173
小計	287,722	188,524
利息及び配当金の受取額	2,298	1,681
助成金の受取額	13,082	5,453
法人税等の支払額	△88,558	△250,984
営業活動によるキャッシュ・フロー	214,544	△55,325
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,736	△3,873
有形固定資産の売却による収入	—	3,205
有価証券の売却による収入	—	28,000
無形固定資産の取得による支出	△83,107	△37,576
関係会社株式の取得による支出	△120,000	—
敷金及び保証金の回収による収入	4,701	10,613
敷金及び保証金の差入による支出	△2,303	△2,610
従業員に対する貸付けによる支出	—	△3,240
従業員に対する貸付金の回収による収入	1,689	1,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△209,757	△3,861
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△65,396	△62,558
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,396	△62,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,241	8,013
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△59,367	△113,732
現金及び現金同等物の期首残高	3,704,724	3,879,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,645,356	3,765,888



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、システム検証事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループの提供している事業はシステム検証サービス業でありますので、事業上の特性から生産実績を示すことは困難であるため記載しておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

サービス別	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	
			受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
開発支援検証サービス	3,680,562	0.1	827,537	25.9
認定支援サービス	11,579	10.0	400	—
検証情報サービス	58,501	52.4	16,852	17.7
製品検証サービス計	3,750,642	0.7	844,790	25.8
セキュリティ検証サービス	72,997	△6.8	10,470	15.7
その他のサービス	51,208	△47.3	9,417	△43.4
合計	3,874,848	△0.7	864,677	24.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

サービス別	販売高（千円）	前年同四半期比（％）
開発支援検証サービス	3,603,148	△7.4
認定支援サービス	11,179	6.2
検証情報サービス	78,971	54.0
製品検証サービス計	3,693,298	△6.6
セキュリティ検証サービス	75,577	△8.0
その他のサービス	51,010	△41.6
合 計	3,819,886	△7.4

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注) 2. 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	金額（千円）	割合（％）	金額（千円）	割合（％）
ソニー株式会社	544,468	13.2	550,634	14.4
パイオニア株式会社	476,182	11.5	451,704	11.8
株式会社デンソー（注3）	570,753	13.8	—	—

(注) 3. 当第3四半期累計期間における販売実績につきましては、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満であったため記載を省略しております。